

報道ご関係者各位
2010年9月22日

**マニライフ生命、2010年度パシフィックリーグへの協賛に続いて
『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』の協賛を決定**

マニライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO: クレイグ・ブロムリー、以下マニライフ生命)は、この度、プロ野球パシフィックリーグ6球団^{※1}による共同事業会社、パシフィックリーグマーケティング株式会社(本社: 東京都品川区、代表取締役: 小林信次)との間で、2010年パシフィックリーグクライマックスシリーズ^{※2}の協賛について合意し、『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』のメインスポンサーとなることを決定いたしました。

マニライフ生命は、野球を通して社会貢献・社会奉仕するというプロ野球の理念と、地域に密着してその理念を成し遂げようとするパ・リーグ6球団の姿勢、野球ビジネスの新しいスタイルの確立とリーグ振興のために行動するパシフィックリーグマーケティング株式会社の活動に共感し、2010年度パシフィックリーグのスポンサーとして協賛してまいりました。今般、協賛活動の意義をより高めたいと考え、『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』への協賛も決定しました。『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』の協賛において、マニライフ生命の社名が入ったコンポジットロゴを使用いたします。



『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』の協賛について、クレイグ・ブロムリー社長兼 CEO は、次のように述べています。

「マニライフ生命は、日本に設立されて11年と若い会社ですが、自社のアドバイザーや提携金融機関並びに代理店等の販売ネットワークを通じて先進的な商品・サービスをご提供しています。お寄せいただいている信頼と信用を礎に、皆様の夢と心の安らぎの実現にお役に立ちたいと考えています。また、このような地域に根ざした社会活動への協賛を通じて、より良い社会作りにお役に立つことも私どもの願いです。2010年度パシフィックリーグへの協賛に続き、『2010 マニライフ生命 クライマックスシリーズ パ』をメインスポンサーとして応援させていただくことを嬉しく思います。プロ野球人気の更なる向上と地域の活性化に資することができれば幸いです。」

※1 パ・リーグ6球団 : 北海道日本ハムファイターズ、東北楽天ゴールデンイーグルス、福岡ソフトバンクホークス、埼玉西武ライオンズ、千葉ロッテマリーンズ、オリックス・バファローズ

※2 クライマックスシリーズ：日本野球機構が2007年シーズン(パシフィックリーグは2004年からプレーオフの名称で導入)から導入したポストシーズンゲームの名称である。年間144試合のレギュラーシーズン終了後、勝率1位のチーム(パ・リーグ優勝チーム)から3位までのチームがステップラダー方式(2ステージ勝ち抜き制)で日本シリーズ出場権を争う試合。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22ヶ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年6月30日現在4,540億カナダドル(4,280億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ(www.manulife.com)をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)